



平成31年の始まり

1月となり、新しい年が始まりました。この4月30日で平成が終わることが決定しているので、あちらこちらで、「平成最後の・・・」という言葉が耳にします。昨年末の紅白歌合戦もそうでしたし、なんとこの4月30日を賞味期限とする「平成最後のポテトチップス」なるものも販売されているそうです。

「平成」の名前の由来は、『史記』五帝本紀の「内平外成（内平かに外成る）」、『書経（偽古文尚書）』大禹謨の「地平天成（地平かに天成る）」からで「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味が込められているそうです。

昭和64年は7日間しかなかったため、慌ただしく平成が始まったように思いますが、平成の次にはまだ3ヶ月あるので、少し余裕を持って始まるように思います。そして1月8日（火）、平成31年の串本古座高校が始まりました。



減災教室

1月25日（金）、5時限～6時限（午後1時30分～午後3時30分）に本校において、串本町堀笠嶋地区住民の方々と本校生徒（1・2学年）約200名が、合同で減災教室に参加しました。本教室実施にあたっては、和歌山県危機管理局消防課出張減災教室研修スタッフ3名の方々と、串本町役場総務課防災防犯グループ3名の方々の協力を得て、本校防災委員の生徒達、防災担当職員との補助も加え、生徒・職員全員参加の形態で実施しました。



まず、県危機管理局消防課出張減災教室研修スタッフから本教室の内容説明があり、続いて、地震への心構え、日々の災害に対して意識を高めておくことの重要性、プロジェクター画像を使って、南海トラフ、巨大地震、串本地域への津波の到達時間、過去に大きな災害があった地震などについての、くわしいお話がありました。その後、1学年と2学年に分かれて、第1体育館では、パーティション（避難所のフロアの仕切りを作る）作り、第2体育館前では、起震車ごりょう君揺れ体験（震度6までの揺れ）、剣道場では、串本町役場総務課防災防犯グループの方が、プライベートテント、簡易トイレ、汚物処理等について説明を行いました。また本校防災担当職員からは、新聞でスリッパの作り方を各生徒に説明を行いました。



減災教室に参加した生徒の感想として、「避難所設営は難しかったが、常に準備をして、災害時は、率先避難を心がけたい」「地域の方との起震車体験では、「すごいな、立ってられない。」「話をしましたが、本当に、とんでもない揺れでした」「避難所において、パーティションで区切られた空間があれば、避難者の負担を軽減できるのではないか」「高校生が、減災教育を受けることにより、避難所で率先して動くことができる」等がありました。

この減災教室は、実際に地震が起きたときに役立つことは何かを考えるよい機会になったようです。本教室の実施は、迫り来る地震に対する意識を確認する有意義なものとなりました。



トルコ文化を学ぶ特別授業

1月31日（木）に、トルコ文化センターのフセイン・ツナさんと岡部誠一さんを迎え、科目「比較文化探究」の特別授業を行いました。

5限は、トルコ文化についての講義があり、トルコの地理や歴史、トルコにある世界遺産について学びました。6限には、トルコの伝統的なオスマン式弓術の実習がありました。基本姿勢、弦の張り方や撃ち方などを教えていただき、その後は的を狙って撃ちました。今回は弓道部の生徒も参加していましたが、日本のものと大きく違うようで、誤ってとんでもない方向に撃ってしまうハプニングもありました。

授業の最後に、「ジフギル」という、親指にはめるサブリングをいただきました。これは、弦を引く指の負担を減らすものだそうです。授業が終わってからも、このジフギルを使って、弓を撃つのを楽しんでいました。



2月行事予定

- | | |
|---------|-------------------|
| 19日（火） | 1・2年学年末考査発表 |
| 22日（金） | 25日（金）とも一般出願受付 |
| 26日（火） | 学年末考査開始 |
| 27日（水） | 1・2限考査 その後卒業式会場設営 |
| 28日（木） | 1・2限考査 その後卒業式予行 |
| 3月1日（金） | 卒業式 |